

耐震診断について

問

一・耐震診断補助金を有効に活かすため、家屋等の補強工事に補助金を出せないか。また、今後の政策に取り入れられないのか。

二・昨年度の耐震診断の実績は。

答

一・診断をしても補強工事費に対応ができないということで、市民が耐震診断補助金利用をしてもらっていないのが現実である。

早く民家にも補強補助金が出せるような方向に向かって上部団体に働きかけていきたいと考えている。

二・十七年が二件、十八年が四件である。十八年度には各行政機関にお願いし、パンフレットで啓発し区長会にも説明したが少し増えただけである。

今年度は従来の方法にプラスし、防災安全課と連携をとり自主防災組織にも啓発を図り、実施率の向上に努めたい。

学校エコ改修環境教育事業費について

問

一・本事業の設置目的、意義は。

二・本事業の採択基準は。

三・本事業の対象校の状況は。

答

一・本事業は地球温暖化を防ぐ校舎のエコ改修事業（ハード）と、こうした整備プロセスを活用した環境建築技術の地域への普及や、学校と地域が協力して取り組む環境教育の推進を目指す教育事業（ソフト）となっており、目的として①環境改善②ごみの削減③地域技術者の育成④環境教育⑤環境対策の普及⑥エコ市場となっている。

二・公募の対象は地方公共団体とし、地域や学校の特徴に応じた地球温暖化防止のためのエコ改修によって、子供の快適な環境を確保するとともに、このプロセスを地域への環境建築等の技術普及や学校で環境教育に活用するという改修と教育とを連携して行う事業を計画している公立の学

校である。

三・本事業は十七年度から始まり、十七年度では全国で九校が選定され、十八年度については、翠小学校を含めて六校が選定されており、県下では翠小学校以外の選定はない。



エコ改修に取り組む翠小学校

地域活動支援センター建設用地取得費について

問

むつみ作業所家族会の努力が実り、今回建設用地のめどがついた。松前町からの通所もあるが、その負担はどうなっているのか。

答

NPO法人むつみ作業所の老朽化に伴い二、三年前から建設の要望が出ていた。関係者からは伊予市に建設したいとの希望があり、土地開発公社が取得していた土地を今回、市が無償で貸し出すことになっている。ただ一市一町の広域で松前町の方の通所がある中、その負担については備品の補助ということで松前町へ陳情に行っている。建設計画が進む中で、松前町としては、検討したいと聞いている。

公共下水道事業について

問

一・再評価業務とは。

二・委託先は。

三・委託方法は、指名か一般競争入札か。

四・安広ポンプ場増設工事の内容は。

答

一・公共事業の実施については、事業開始後十年を経過す



安広ポンプ場

ると効率的・効果的な事業の執行について評価を受けなければならぬ制度になっている。伊予市の公共下水道事業も平成二十年度に再評価を受けるための資料作成である。

二・民間のコンサルタントである。

三・業務委託に関してはすべて競争入札であり、金額のランクにより八業者での指名競争入札になる。

四・流入する水量の増大やごみによる機能低下に対処するため、これに伴う電気設備工事とで約一億五千万円である。